

地域経済研究会の会則及び概要

地域経済研究会会則

第1条 (名称)

本会は、地域経済研究会と称する。

第2条 (目的)

本会は、地域経済に関する研究及びその普及、並びにこれらの研究者の連絡協同を目的とする。

第3条 (事業内容)

本会は、研究会の開催、会誌及び書籍の刊行、その他本会の目的を達成するに適当な諸事業を行う。

第4条 (会員)

本会の目的に賛同して会員となるには、本会に申込み、事務局の承認を受けることを要する。会員は、年会費 1,000 円を納めることとする。

第5条 (代表者)

会員によって互選されたものが代表者となり、会務を執行する。

第6条 (事務局)

代表者のもとに事務局及び会計担当者をおき、日常の業務を執行する。

第7条 (事務所)

本会の事務所は、京都市左京区吉田本町京都大学経済学研究科の岡田知弘研究室に置く。

第8条 (設立年月日)

本会は、1996年5月11日に設立する。

地域経済研究会の概要

【概要】

本研究会は、地域経済の理論、歴史、現状に関心のもつ研究者、大学院生、社会人が、隔月で開いている研究会である。

【会の略史】

1996年5月11日(土) 第1回研究会開催

2005年9月18日(土) 第53回研究会開催

【代表者】

岡田知弘(京都大学大学院経済学研究科教授)

【事務局・会計担当者】

三重遼一(京都大学大学院経済学研究科)

宇都宮千穂(京都大学大学院経済学研究科)

【機関誌】

『資本と地域』(毎年10月発行)

【事務局連絡先】

〒606-8501

京都市左京区吉田本町

京都大学大学院経済学研究科 岡田知弘研究室

Tel/Fax: 075-753-3462 (研究室直通)

E-mail: okada@econ.kyoto-u.ac.jp

投稿規程と執筆要項

投稿規程

1. 本誌は主として、地域経済研究会内外の会員による地域経済および関連諸分野の研究成果を掲載する。
2. 本誌は年刊として、毎年10月に発行する。
3. 本誌への投稿に際しては、以下の規定に従うこと。
 - (1) 本誌への投稿原稿は、地域経済および関連諸分野に限る。
 - (2) 他で審査中あるいは掲載予定となっているものは、本誌への投稿・発表を認めない。
 - (3) 投稿者は事務局宛に以下の全てをメールすること。
 - ・ 原稿のファイル
 - ・ 原稿の表題、投稿者の氏名・ふりがな、所属機関名と肩書等、連絡先[郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス]
4. 掲載の採否は編集委員が決定する。
5. 本誌掲載に際しての著者校正は1回(初校のみ)とする。
6. 原稿執筆の様式は執筆要項に従うこと。
7. 原稿およびその他の送付物はいずれも返却しない。
8. 投稿の宛先は、地域経済研究会事務局宛(okada@econ.kyoto-u.ac.jp)とする。

執筆要項

1. 論文Ⅰは図表を含めて30,000字程度とする。
2. 論文Ⅱは図表を含めて20,000字程度とする。

3. 書評は4,000字以内とする。
4. 原稿は、横書きで、句読点も含めて1桁1字(欧文および数字は1桁2字)で作成する。ワープロを使用する場合は、余白・行間を充分にとること。
5. 注は、引用注・説明注を区別せず、通し番号を付して一括して本文の末尾に記す。章あるいは節ごとに分割しない。なお、引用・参考文献の表示方法については、WEBサイト(<http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/~okada/>)において、引用文献の表示方法の標準的なスタイルを示しているので参照されたい。
6. 人名など特殊な場合以外は、なるべく常用漢字・新かなづかいを用いる。なお、資(史)料を引用する場合は、かなづかいはそのままとし、旧字(正字)の部分を通用の書体(新字)に直す。たとえば「圓」は「円」、「鐵」は鉄。
7. 単位の表記については、スペースを節約するため、できるだけ%、kgなどの略字を用いる。数字の表記については、原則としてアラビア数字を使用する。桁数の多い数字の場合は、「5億6,524万円」のように適宜単位を補ってもよい。
8. 謝辞は掲載できない。

資本と地域

第3号

2006年10月

巻頭言	宮本 憲一
論文Ⅰ	
中国におけるリンゴ産業の展開と輸出拡大	徐 陽 (1)
論文Ⅱ	
日本企業の海外進出と日本人社会—デュッセルドルフのケーススタディー—	北林 陽児 (23)
地域経済の現場から	
「町」の失われた場所に「ムラ」をつくる	浦田 龍次 (40)
地球をあるく	
フィリピン マーコッパ—鉱山事故の一事例—	ジョン・ランビーノ (42)
書評	
小森治夫著『地域開発政策における公共事業の財政問題』	池田 清 (44)
書を持って街に出よう	
カイコから何ができるのか?	倪 卉 (46)
今をとらえる	羅 慧 雯 (49)
学会参加記	関根 佳恵 (51)
研究の周辺	櫛田 民夫 (52)
研究活動報告Ⅰ	(50)
研究活動報告Ⅱ	(53)
会員紹介	(54)
地域経済研究会会則、投稿規定	

地 域 経 済 研 究 会

編集者のひとり言

『資本と地域』の第3号を発刊することができ、嬉しく思っています。会員および読者の方々からの感想や励ましの声が届くたびに、編集担当一同、勇気付けられました。また、徐々に読者や会員が増えていえることも、私たちの今後の活動の励みになっています。今号は、小山氏を新たに向かえ、編集会議もにぎやかになりました。これからも、忌憚のないご意見やご感想をお送り頂ければと思います。(関根佳恵)

今回の編集委員のテーマは“技術伝承”ということで、編集作業もかなり systematic になってきた気がしました。なので、流れ作業的に自分の分担をこなせばよく負担も少なくなりました。慣れてくると新たな視点で『資本と地域』を捉えることもできるようにもなり、今後、その視点をどう生かしていくのかが課題になりそうです。新委員の小山さんも精力的に作業してくれ、非常に助かりました。今後の活躍も“期待”しています。(池島祥文)

お待たせ致しました。とうとう第3号です。カンパ並びに編集作業を陰で支えてくれた皆さん、本当にどうもありがとうございました。また、多忙にも拘らず原稿執筆を快諾していただいた本号執筆者の皆様、本当に感謝しております。持ち前の要領の悪さで、いつも編集委員の皆さんには迷惑をかけたばなしで、本当に申し訳ないかぎりでした。最後に、『資本と地域』の発展の可能性を探るべく、充電期間が欲しいと思う、今日この頃です。(大貝健二)

今年も多くの人々のカンパとご協力によって研究会紀要を発刊することができました。しかも、今年は編集委員それぞれが学会報告や修士論文、博士論文、あるいはバイトといった一番忙しい時期の中での編集となり、編集委員全員のお互いへの思いやりや助け合いがなければ、到底発刊する事ができなかったのではないかと感じています。感謝の気持ちを忘れずに、次号にもあたりたいと思います。(三重遷一)

第3号をお届けします。今年度は、編集活動も円滑に進みました。暗中模索から始まった雑誌づくりですが、一番長い編集委員はもう3年目です。創刊期の雑誌から、いよいよ次のステップに進む時が来たように思います。研究者にとって「研究をすること」は楽しいものだと思います。その感覚を支えるような、そんな雑誌であって欲しいと願っています。(宇都宮千穂)

生まれながらの偉人などこの世にいない。偉人として多くの人々の協力があって初めて生まれるものである。雑誌と同様ではなからうか。突如として社会的権威など沸いてでるものでもない。今後も継続的に、後進を指導し、活動を続けることにより徐々に時間とともに醸成されていくものではなからうか。

私にそのささやかではあるが重要な時代の1ページを紡ぐ活動に参加する機会を与えてくださった皆様に感謝するとともに、ここでの報告が多少なりとも、後の偉大な活動へと結びつくことを期待しています。(小山大介)

資本と地域 第3号 (毎年10月発行)

2006年10月発行

発行人 岡田知弘
発行所 地域経済研究会
連絡先 〒606-8501
京都市左京区吉田本町
京都大学大学院経済学研究科 岡田知弘研究室
Tel/Fax : 075-753-3462 (研究室直通)
E-mail : okada@econ.kyoto-u.ac.jp
口座番号 : 00940-1-167133
印刷所 (株) 田中プリント
〒600-8047 京都市下京区松原通麩屋町東入
Tel 075-343-0006